

# ハンディターミナル検針票

表面

裏面

この範囲はタイミングマーク  
以外の印字は行わないこと

## ガス・水道・下水道使用量のお知らせ

お客様番号 (加 入供給地点特定番号)			
ご使用場所			
区 分	ガス ( 号 )	水道 ( mm )	
今 回 指 針	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
前 回 指 針 (-)	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
推定使用量累計 (-)	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
旧メーター使用量 (+)	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
今 回 使 用 量	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
下 水 道 使 用 量		m <sup>3</sup>	
ガ ス 早 収 料 金 (税込)		円	
ガス警報器リース料 (税込)		円	
水 道 料 金 (税込)		円	
下 水 道 使 用 料 (税込)		円	
合計請求予定額 (税込)		円	
◆この「お知らせ」では料金の納入はできません。 ◆ガス料金は前月分を早収期限内に納入されないと、3%の 前月遅収加算額が別途加算されます。			
前年同月の使用量 (参考)			
ガス	m <sup>3</sup>	水道	m <sup>3</sup>

検針日

検針員

(お客様へ)

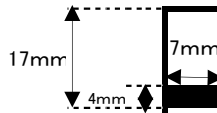
口座振替ご利用のお客様へ

### 口座振替済通知書

	使用量	金額 (税込)
ガ ス 早 収 料 金	m <sup>3</sup>	円
ガス前月遅収加算額		円
ガス警報器リース料		円
水 道 料 金	m <sup>3</sup>	円
下 水 道 使 用 料	m <sup>3</sup>	円
合 計		円

上記の金額を  
お支払いいただきました。

魚沼市ガス水道局 (電話 025-792-1118)  
魚沼市管工事業協同組合 (電話 025-793-2120)  
(裏面も、ご覧ください)



## お 客 様 へ

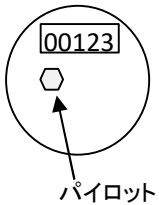
### 検針についてのお願い

- ・メーターボックスの上に物を置いたりせず、メーターはいつも見やすいようにしておいてください。
- ・犬は、メーターの近くにつながないようにしてください。

### 漏水の調べ方

水道の蛇口を全部閉めて、水道のパイロットを確認してください。パイロットが回っているときは屋内配管で漏水している可能性がありますので、市指定給水装置工事業者に依頼して修理してください。

(水道メーター)



### 下水道を大切に

- ・生ごみや残り油を下水道に流さないでください。
- ・汚水ますへゴミや雨水を絶対に入れないでください。

### ガスは正しく使いましょう

- ・小型給湯器や開放型ストーブを使うときは、必ず換気をしましょう。
- ・料理中は、天ぷら油火災や吹きこぼれに注意してください。
- ・ガス警報器が鳴ったり、ガス臭いと感じたら、窓や戸を大きく開けて換気をしてください。なお、換気扇は、着火源となるおそれがありますので使用しないでください。
- ・ガスをより安心してご使用していただくために、ガス警報器の設置をおすすめします。

### 料金のお支払いは便利な口座振替で

お申し込みは、金融機関へ印鑑(金融機関取引印)と預金通帳、このお知らせをお持ちのうえ手続きしてください。

### 【託送供給料金相当額の計算方法について(参考)】

ご請求金額には、以下の算式で算定した託送料金相当額が含まれております。

定額基本料金	ガス使用量	従量料金単価	託送料金相当額
500.00円	+ ( ) m <sup>3</sup>	× 41.00円/m <sup>3</sup>	= ( ) 円

※ 上記金額に消費税等相当額を加算した額

※ 託送料金、消費税等相当額の1円未満は切り捨て

下水道使用料に係る付記

- 不服申立て  
この決定に不服がある場合は、この決定があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、市長に対して審査請求をすることができます(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると審査請求をすることができなくなります。)
- 処分の取消しの訴え  
この決定について、上記1の審査請求に対する裁決を得た場合に限り、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、市(訴訟において市を代表する者は、市長となります。)を被告として処分の取消しの訴えを提起することができます(なお、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、当該審査請求に対する裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。)。ただし、次のアからウまでのいずれかに該当するときは、審査請求に対する裁決を経ないで処分の取消しの訴えを提起することができます。  
ア 審査請求があった日の翌日から起算して3か月を経過しても裁決がないとき。  
イ 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。  
ウ その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。